

ERP コネクタ・SMILE 版 操作マニュアル



必ずお読みください！

本マニュアルは、弊社製品の「ERP コネクタ」の設定に関する必要項目が記載されております。
必要情報をきちんと設定されないと、当社製品の運用に支障をきたしますので、弊社製品の運用責任者・システム管理者の方は、必ずこのマニュアルをお読みくださるようお願い申し上げます。

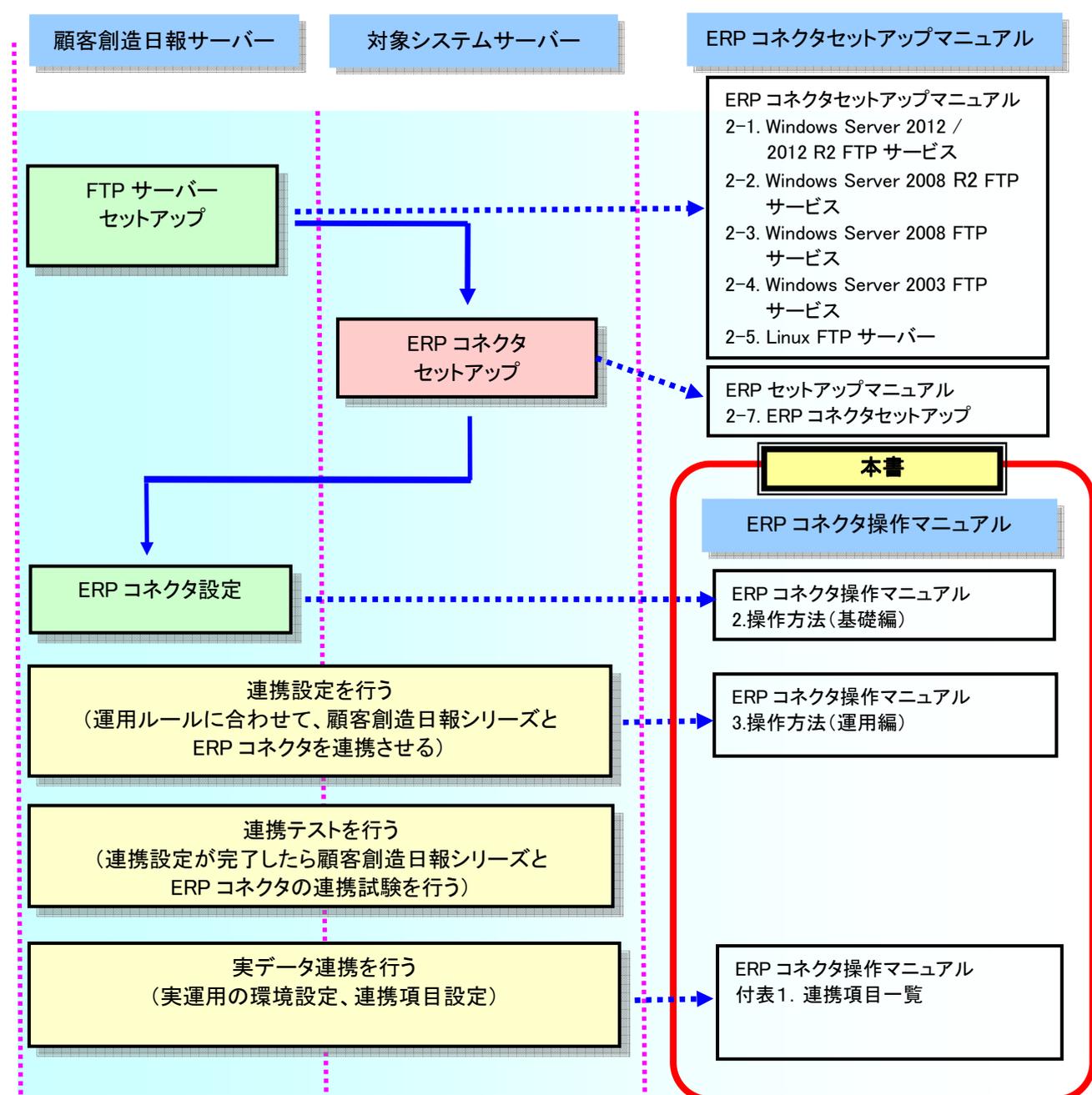
1. はじめに	1
2. 操作方法（基礎編）	2
2.1 顧客創造日報シリーズシステム設定－ERP コネクタ	2
2.2 ERP コネクタ	
1. ERP コネクタを起動する	4
2. インタフェースを設定する	5
3. 顧客創造日報シリーズへの接続情報を設定する	7
4. 連携項目を設定する	8
5. 抽出データを設定する	9
6. スケジュールを設定する	10
7. 自動でデータ転送する	12
8. 手動でデータ転送する	13
9. 連携結果の確認	15
10. 連携結果の確認(詳細)	17
3. 操作方法（運用編）	18
作業項目	18
1. 事前準備	19
2. グループ(部署)情報の連携	21
3. 社員情報の連携	24
4. 顧客情報の連携	28
5. 商品分類・商品情報の連携	31
6. 売上実績情報の連携	34
7. 見込顧客を ERP へ転送	36
4. トラブルシューティング	39

1. はじめに

ERP コネクタとは、顧客創造日報シリーズ[※]と外部システムのデータを連携するためのアプリケーションです。**外部システムに常駐し**、定期的または手動にて顧客創造日報シリーズへデータ転送を行います。このマニュアルでは、ERP コネクタのセットアップ方法を説明します。

[※]顧客創造日報シリーズは、営業コンサルティングのノウハウをパッケージ化した完全 WEB 対応の営業支援システム(SFA・CRM)です。一日一枚の営業日報入力で、顧客管理、商談管理、物件(案件)管理、訪問計画管理まで網羅しています。顧客創造日報シリーズは、営業スタイルの違いを考慮し、営業スタイル別(案件営業型、ルート営業型、案件ルート併用型、個人客対象型)に4タイプがあります。本マニュアルでは、それらを称して「顧客創造日報」と呼びます。

操作の流れとマニュアルの構成



2. 操作方法 (基礎編)

2.1 顧客創造日報シリーズ システム設定—ERP コネクタ

1. システム設定を行う

顧客創造日報シリーズ側で受け取ったデータをどのように処理するか、また連携処理に関するログをどのように採取するかなどのシステム設定を行います。

「顧客創造日報シリーズ システム設定よりERPコネクタを開く

1. 「顧客創造日報シリーズ」の WEB 画面を開き、「システム設定」をクリックします。

※「顧客創造日報シリーズ」へのログイン方法、システム設定画面の表示方法の詳細は、「顧客創造日報シリーズ」の製品マニュアルをご確認ください。

2. 次ページの表示内容に従い、各パラメータを設定してください。

3. **保存する** ボタンをクリックしてください。

⇒設定内容が保存されます。

■環境設定	
<input type="button" value="保存する"/>	
連携フラグ	NIエージェントの連携設定を行います。 <input checked="" type="radio"/> 連携する <input type="radio"/> 連携しない
認証情報(ログインID)	認証に必要なログインIDの設定を行います。(入力必須) [半角4~32文字] niaagent
認証情報(パスワード)	認証に必要なパスワードの設定を行います。(入力必須) [半角4~32文字] ●●●●●●
ログレベル	ログ出力レベルの設定を行います。 情報 ▼
ログファイル管理数	管理するログファイル数の設定を行います。[1~50ファイル] 10 ▼
連携用社員情報	外部システムから転送されてくる社員情報が存在しない場合に強制セットする社員コードを設定して下さい。[最大半角128文字] <input type="text"/> <input type="button" value="表示"/>
連携用顧客情報	外部システムから転送されてくる顧客情報が存在しない場合に強制セットする顧客コードを設定して下さい。[最大半角32文字] <input type="text"/> <input type="button" value="表示"/>
部署名区切り文字	部署名の分割・結合時に用いる区切り文字の設定を行います。[半角1文字] /
CSVファイル文字コード	取込むCSVファイルの文字コードを指定します。 Shift_JIS ▼

※連携フラグを「連携する」で保存した場合は、顧客重複チェックが「顧客コード+除外コード」で自動設定されます。

■ 表示内容

項目	初期値	説明
連携フラグ	連携しない	NI エージェントの連携設定を行います。 ※「連携する」の場合のみ転送データを処理します。
認証情報(ログイン ID)	空白	認証に必要なログイン ID の設定を行います。(入力必須) ※ERP コネクタの「NIWeb」で設定したユーザーID と同一の値を設定します。
認証情報(パスワード)	空白	認証に必要なパスワードの設定を行います。(入力必須) ※ERP コネクタの「NIWeb」で設定したパスワードと同一の値を設定します。
ログレベル	情報	ログ出力レベルの設定を行います。 デバック、情報、警告、エラーから選択できます。 ※ログサイズは、デバック>情報>警告>エラーのようになります。 ※デフォルトは情報となっています。
ログファイル管理数	10	管理するログファイル数の設定を行います。[1~50 ファイル] ※デフォルトは 10 ファイルとなっています。
連携用社員情報設定	空白	外部システムから転送されてくる社員情報が存在しない場合に強制セットする社員コードを設定してください。[最大半角 128 文字] ※存在する社員の社員コードを正しく設定してください。 ※未設定の場合、および誤っている場合、取り込みエラーとします。
連携用顧客情報設定	空白	外部システムから転送されてくる顧客情報が存在しない場合に強制セットする顧客コードを設定してください。[最大半角 32 文字] ※存在する顧客の顧客コードを正しく設定してください。 ※未設定の場合、および誤っている場合、取り込みエラーとします。
部署データ区切り文字	/	部署データの区切り文字の設定を行います。[半角 1 文字]
CSV ファイル文字コード	Shift_JIS	外部システムから転送されてくる CSV ファイルの文字コードを指定します。 ※JIS X 0208 に対応しています。

2. 操作方法 (基礎編)

2.2 ERP コネクタ

1. ERP コネクタを起動する

「ERPコネクタ設定画面」の起動方法

「スタート」—「プログラム」—「NI コンサルティング」から「ERP コネクタ」を起動します。

表示される転送画面の「設定する(S)」をクリックしますと、ERP コネクタの設定画面が開きます。

既にタスクトレイに常駐している場合は、「 ERPコネクタ」をクリックします。表示されるメニューから「設定画面を開く(S)」を選択しますと、ERP コネクタの設定画面が開きます。



ERP コネクタ

Version:01.02.000 (Sys:20081222)

インタフェース ▶ NI Web ▶ 連携設定 ▶ 抽出データ ▶ スケジュール ▶ 運用確認

■ 連携するシステムのインタフェースを設定します。

システム名(移行元)	ERP	システム名(移行先)	顧客創造日報シリーズ
フォルダ		インタフェース	FTP
D:*	フォルダ参照	ポート番号	21
		サーバー名	XXXXXXXXXXXX
			※IPアドレスまたはドメイン名
		ユーザーID	niconsul
		パスワード	*****
		フォルダ	niftp
		FTPサイト	C:\inetpub\ftproot
			※移行先がWindowsのみ設定してください。
		転送方法	<input checked="" type="radio"/> ASCII <input type="radio"/> BINARY

※接続テストでは、フォルダ、FTPサイトの設定が正しいか確認できませんので、誤りのないよう設定してください。

CSVファイル名を設定する

保存する(S) 閉じる(X)

2. インタフェースを設定する

このステップでは、ERPコネクタと連携する外部システムとがデータをやりとりするために、必要となるインタフェースパラメータの設定を行います。**※次項以降の設定は、このステップの設定が正しく行えていることが前提となりますので、正しく設定してください。**

- 画面上部より「**インタフェース**」を選択し、インタフェース設定画面を表示させます。
- 次ページの表示内容に従い、各パラメータを設定してください。
- 設定が完了したら、「**接続テスト**」ボタンを押して、設定値に誤りがないか確認を行ってください。

ERP コネクタ Version:01.02.000 (Sys:20081222)

■ 連携するシステムのインタフェースを設定します。

システム名(移行元) ERP

フォルダ D#

システム名(移行先) 顧客創造日報シリーズ

インタフェース FTP 接続テスト

ポート番号 21

サーバー名 XXXXXXXXXX ※IPアドレスまたはドメイン名

ユーザーID niconsul

パスワード *****

フォルダ niftp

FTPサイト C:\inetpub\ftproot ※移行先がWindowsのみ設定してください。

転送方法 ASCII BINARY

※接続テストでは、フォルダ、FTPサイトの設定が正しいか確認できませんので、誤りのないよう設定してください。

CSVファイル名を設定する

システム名(移行先) ERP

該当するファイル名(拡張子「.csv」を含む)を指定してください。

連携項目	ファイル名(CSV)
部門情報	部門.csv
社員情報	社員.csv
得意先情報	得意先.csv
商品情報	商品.csv
売上明細情報	売上明細情報.csv
得意先月別集計情報	

1行目を見出し行とする。

戻る

フォルダ設定画面と、CSV ファイル名設定画面は、
[CSV ファイル名を設定する](#)、[戻る](#)
をクリックすることで切り替わります。

※インターフェース～抽出データの設定が完了したら **保存する(S)** をクリックして保存してください。
(変更途中でも保存することは可能です)



入力したパスワードは、「*」で表示されます。
※1 NiWeb画面の接続先と同じサーバー名にしてください。

■ 表示内容

ボタン名称	説明
保存する(S)	画面で設定した内容を保存します。
閉じる/トップへ戻る(X)	転送画面から「設定する」を押すと「閉じる」ボタンが「トップへ戻る」に変更されます。 ※「閉じる」を押すと画面を閉じます。 ※「トップへ戻る」を押すと転送画面に戻ります。
項目名称	説明
移行元インタフェース	
システム名(移行元)	移行元のシステム名を入力します。
フォルダ設定画面※1	
フォルダ	ERP から出力した GSV ファイルを配置するフォルダを入力します。 ※ERP コネクタを動作させるパソコンのローカル上で指定してください。
CSV ファイル名を設定する	CSV ファイル名設定画面への切り替えを行います。
CSV ファイル設定画面※1	
ファイル名(GSV)	連携項目毎に、ERP から出力する GSV ファイル名を入力します。 ※ERP コネクタでは、指定されたファイルが存在した場合に自動連携の実行を行います。
1行目を見出し行とする	ERP から出力する GSV ファイルの1行目に見出し行を含めるかどうかを設定します。 ※1行目を見出し行とした場合、2行目以降のデータを連携します。。
戻る	フォルダ設定画面への切り替えを行います。
移行先インタフェース	
システム名(移行先)	移行先のシステム名を入力します。
インタフェース(移行先)	移行先インタフェースタイプを表示します。 ※画面からの変更は行えません。
インタフェース	移行先インタフェースタイプを表示します。 ※画面からの変更は行えません。
ポート番号	移行先FTPサーバーのポート番号を入力します。デフォルト値は「21」となります。
サーバー名	移行先FTPサーバー名もしくは IP アドレスを入力します。
ユーザーID	移行先FTPサーバーにログインするユーザーIDを入力します。
パスワード	移行先FTPサーバーにログインするユーザーIDに設定されているパスワードを入力します。
フォルダ	移行先FTP送信するフォルダを入力します。 ※例) 移行先が Windows は niftp、Linux は /home/niconsul/niftp
FTPサイト	移行先のFTPサイトの絶対パスを入力します。 ※移行先が Windows のみ設定してください。例) c:\inetpub\ftproot
転送方法	移行先へ、FTP送信する際の転送方法を選択します。
接続テスト	移行先インタフェースへの接続テストを行います。 ※接続に失敗した場合、移行先インタフェースの設定が誤っている可能性があります。設定状況を確認し、再度、接続テストを行ってください。



※1 フォルダ設定・CSV ファイル設定は、自動連携を行うための設定項目です。
手動連携での運用をする場合は設定する必要はありません。

3. 顧客創造日報シリーズへの接続情報を設定する

顧客創造日報シリーズサーバーに接続するためのパラメータを設定します。

ERP コネクタは、連携システムからデータを取得後、顧客創造日報シリーズサーバーにデータを転送します。転送後、顧客創造日報シリーズサーバーのアプリケーションにてデータを解析し、取り込み処理を行います。

1. 画面上部より「NI Web」を選択し、NI Web設定画面を表示させます。
2. 以下の表示内容に従い、各パラメータを設定してください。

※インターフェース～抽出データの設定が完了したら **保存する(S)** をクリックして保存してください。
(変更途中でも保存することは可能です)



- ※1 接続できない場合、ブラウザから営業支援システムのURLを実行、ログイン画面が表示されることを確認してください。
- ※2 ユーザーIDとパスワードは、営業支援システム側システム設定「ERP コネクタ」の設定と同一である必要があります。
「2.1 顧客創造日報シリーズシステム設定－ERP コネクタ」に従って設定してください。

■ 表示内容

ボタン名称	説明
接続テスト	移行先インターフェースへの接続テストを行います。 ※接続に失敗した場合、移行先インターフェースの設定が誤っている可能性があります。設定状況を確認し、再度、接続テストを行ってください。
保存する(S)	画面に設定した内容を保存します。
閉じる/トップへ戻る(X)	転送画面から「設定する」を押すと「閉じる」ボタンが「トップへ戻る」に変更されます。 ※「閉じる」を押すと画面を閉じます。 ※「トップへ戻る」を押すと転送画面に戻ります。
項目名称	説明
URL	営業支援システムの送受信プロトコルを選択します。 ※画面からの変更は行えません。
サーバー名	営業支援システムのサーバーの IP アドレスもしくはドメイン名を入力します。
ユーザーID	移行先システムのデータベースのユーザーIDを入力します。
パスワード	移行先システムのデータベースのユーザーに設定されているパスワードを入力します。
サイト名	サイト名を入力します。 ※インストール後の初期値は「ni」です。

4. 連携項目を設定する

ERPコネクタで連携する情報を設定します。

1. 画面上部より「[連携設定](#)」を選択し、連携設定を表示させます。
2. 以下の表示内容に従い、各パラメータを設定してください。

ERPコネクタ Version:01.02.000 (Sys:20081222)

インターフェース ▶ NI Web ▶ **連携設定** ▶ 抽出データ ▶ スケジュール ▶ 運用確認

■ 連携を行う項目を設定します。

連携項目

以下のリストから連携する項目を選択してください。

- 部門情報
- 社員情報
- 得意先情報
- 商品情報
- 売上明細情報**
- 得意先月別集計情報

保存する(S) 閉じる(X)

※インターフェース～抽出データの設定が完了したら **保存する(S)** をクリックして保存してください。
(変更途中でも保存することは可能です)



※1 売上明細と、得意先月別集計情報を同時に連携させることは出来ません。どちらかを選択してください。

■ 表示内容

ボタン名称	説明
保存する(S)	画面に設定した内容を保存します。
閉じる/トップへ戻る(X)	転送画面から「設定する」を押すと「閉じる」ボタンが「トップへ戻る」に変更されます。 ※「閉じる」を押すと画面を閉じます。 ※「トップへ戻る」を押すと転送画面に戻ります。
項目名称	説明
連携項目	表示されているリストの中から、連携する項目を選択します。

5. 抽出データを設定する

連携する情報を確認します。

- 画面上部より「抽出データ」を選択し、抽出データの設定画面を表示させます。
- 以下の表示内容に従い、各パラメータを設定してください。

■ 連携項目の抽出定義を設定します。

顧客創造日報シリーズ

ERP

項目設定

※候補が複数ある場合、項目名をクリックすると連携する項目が選択できます。

項目	項目名	候補数
1	事業所コード*	1
2	事業部名	1
3	部門コード*	1
4	部門名	1
5	部門略称	1
6	部門索引	1

保存する(S) 閉じる(X)

※インターフェース～抽出データの設定が完了したら **保存する(S)** をクリックして保存してください。
(変更途中でも保存することは可能です)

■ 表示内容

ボタン名称	説明
保存する(S)	画面に設定した内容を保存します。
閉じる/トップへ戻る(X)	転送画面から「設定する」を押すと「閉じる」ボタンが「トップへ戻る」に変更されます。 ※「閉じる」を押すと画面を閉じます。 ※「トップへ戻る」を押すと転送画面に戻ります。
項目名称	説明
顧客創造日報シリーズ	移行先の項目を選択します。
ERP	移行元の項目を選択します。
項目設定	
項目	項目番号を表示します。 ※移行元の設定に依存しますので、画面からの変更は行えません。
項目名	項目内の項目名を表示します。 ※移行元の設定に依存しますので、画面からの変更は行えません。
候補数	項目内の選択できる候補数を表示します。 ※移行元の設定に依存しますので、画面からの変更は行えません。

6. スケジュールを設定する

ERPコネクタは、決められた時間に自動的にデータ転送するようにスケジュールすることができます。

- 画面上部より「スケジュール」を選択し、スケジュール画面を表示させます。
- 連携項目、周期タイプ、設定値を設定し、**追加(A) ↓** ボタンを押してください。
※ 設定可能な周期タイプと設定値は、表-1「選択項目一覧」を参照してください。
※ 不要となったスケジュールは、周期設定リストの **クリア** ボタンを押して削除してください。
- 次項の「7.自動でデータ送信する」の設定を行なってください。

ERPコネクタ Version:01.02.000 (Sys:20081222)

スケジュール

■ 連携項目を設定します。 自動実行する

連携項目 転送範囲

■ 実行周期を設定します。

周期タイプ 毎日

設定値 00 時 00 分 **追加(A) ↓**

周期設定リスト

次回予定日時	前回処理日時	連携項目・転送範囲	周期設定
2008/12/15 18:40:00	2008/12/14 19:01:48	部門情報 ・ 前回処理した後のデータ	毎日18時40分
2008/12/15 18:45:00	2008/12/14 19:08:42	社員情報 ・ 前回処理した後のデータ	毎日18時45分

保存する(S) 閉じる(X)

※インターフェース～スケジュールの設定が完了したら **保存する(S)** をクリックして保存してください。
(変更途中でも保存することは可能です)



※周期設定リストの設定件数は、最大 30 件となります。
※次回予定日時、前回処理日時、連携項目をクリックすると表の並び替えできます。

■ 表示内容

ボタン名称	説明
保存する	画面に設定した内容を保存します。
閉じる/トップへ戻る	転送画面から「設定する」を押すと「閉じる」ボタンが「トップへ戻る」に変更されます。 ※「閉じる」を押すと画面を閉じます。 ※「トップへ戻る」を押すと転送画面に戻ります。
追加	設定した周期を、周期設定リストに追加します。
項目名称	説明
自動実行する	チェックをオンにして保存すると自動実行モードになります。
連携項目	連携する項目を選択します。連携設定で選択した項目のみ表示されます。
周期タイプ	連携を行う周期を設定します。(分、毎日、毎週、毎月、1回のみ)
設定値	連携の詳細を設定します。(分周期、時、曜日、日、日付)
周期設定リスト	
次回予定日時	次回連携を行う予定時間を表示します。
前回実行日時	前回連携を行った日時を表示します。
連携項目	連携を行う項目を表示します。
周期設定	連携を行う周期(周期タイプ・設定値)を表示します。
クリア	周期設定リストからスケジュールを削除します。

表1 選択項目一覧

項目	選択項目	備考
周期タイプ	分	設定値に分を表示
	毎日	設定値に時間、分を表示
	毎週	設定値に曜日、時間、分を表示
	毎月	設定値に日、時間、分を表示 ※1
	1回のみ	設定値に日付(YYYY/MM/DD)、時間、分を表示
設定値	分周期	00~55(5分刻み)
	時	0~23(1時間刻み)
	曜日	日~土
	日	1~31
	日付	YYYY/MM/DD クリックするとカレンダーを表示

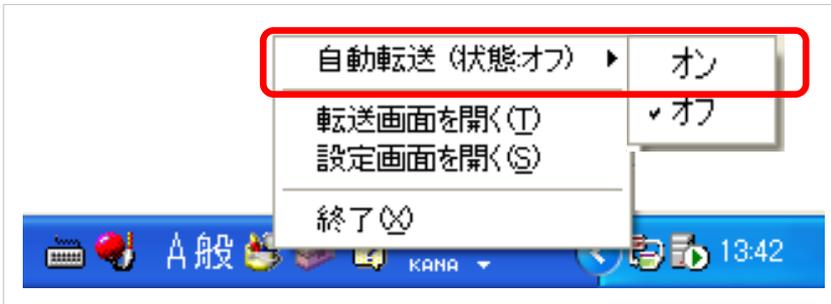


※1 周期タイプで毎月を選択し、設定値の日付を月末にすると月末処理を行います。

この処理は、設定された日時が次回予定月に存在しない場合、その月の最終日の設定時刻を次回予定日時とするものです。但し、スケジュール設定を行った日時がこの次回予定日時を過ぎている場合には、その翌月を次回予定月として月末処理を行い、次回予定日時を設定します。

7. 自動でデータ転送する

タスクトレイに常駐している「 ERPコネクタ」を押すと、メニュー上に自動転送の状態が表示されます。自動でデータ転送を行う場合は、「自動転送」にカーソルを合わせ、状態を「オン」に切り替えてください。設定画面でスケジュール登録された設定に従い自動転送を行います。



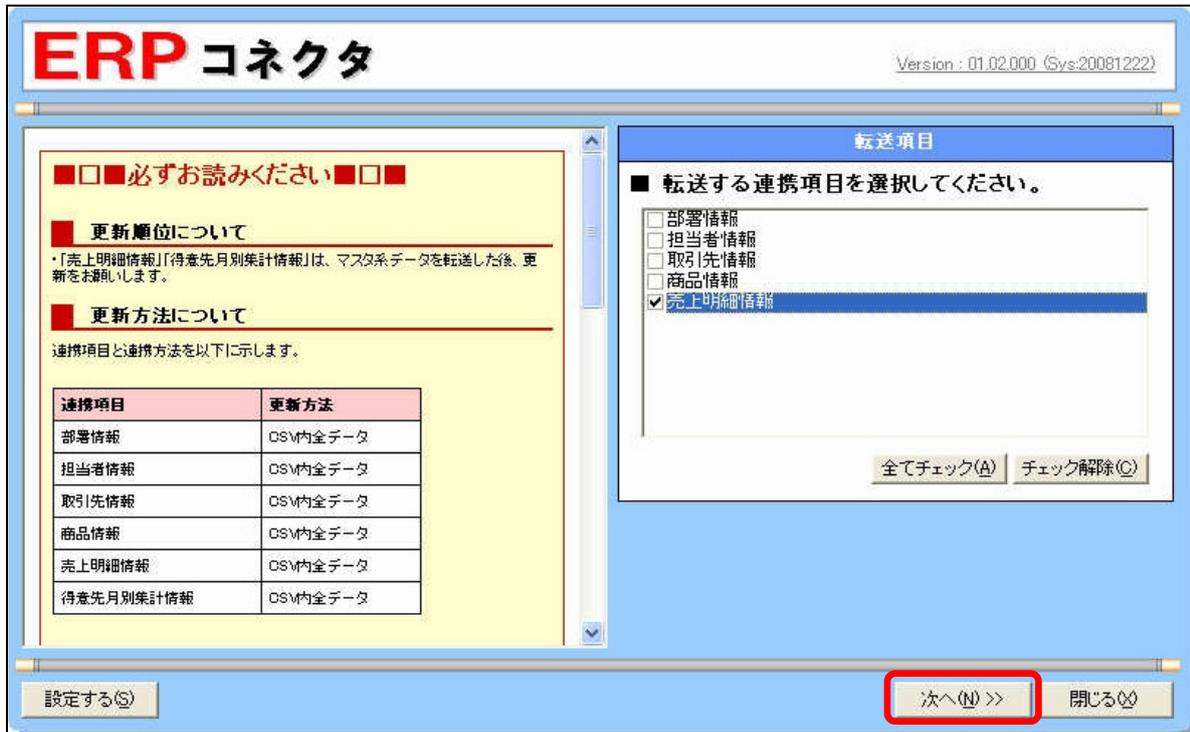
転送画面および設定画面を表示している場合、自動転送はオンには出来ません。
画面を閉じてから設定してください。

8. 手動でデータ転送する

「すべてプログラム」―「NI コンサルティング」から「ERP コネクタ」から起動します。

または、既にタスクトレイに常駐している場合、「 ERPコネクタ」をクリックします。表示されるメニューから「転送画面を開く(T)」を選択します。

1. 転送項目にチェックをいれます。
2. をクリックします。

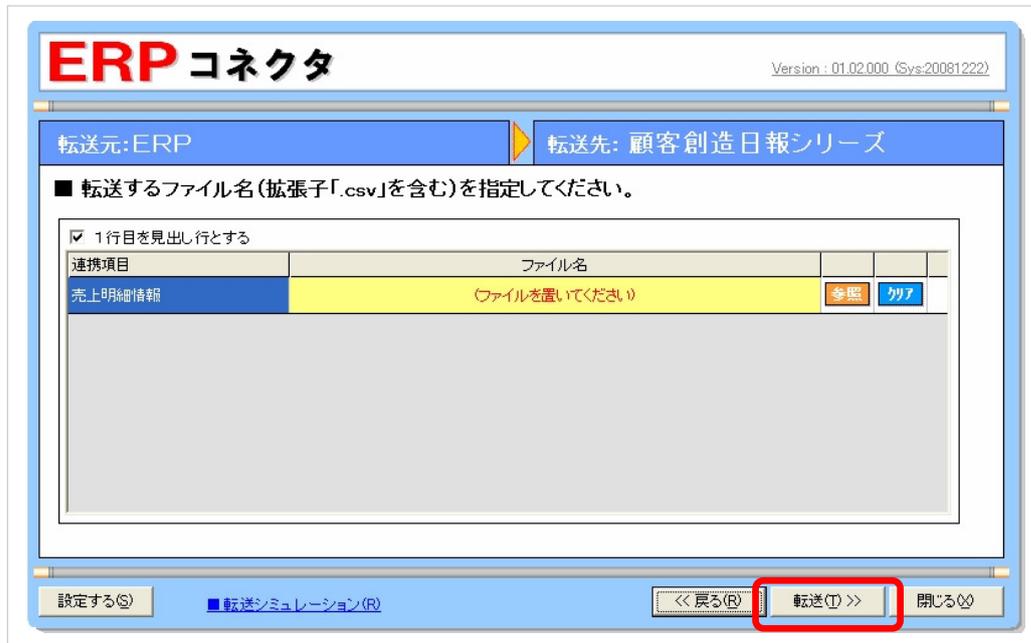


■ 表示内容

ボタン名称	説明
全てチェック	転送する連携項目全てにチェックを入れます。
チェック解除	選択した連携項目のチェックを全て解除します。
設定する	設定画面のインタフェース画面を開きます。
次へ	転送画面へ遷移します。 転送項目を選択しないと画面遷移しません。
閉じる	画面を閉じます。
項目名称	説明
連携項目	連携設定画面で選択した連携項目のみ表示されます。

転送画面が表示されます。

1. 転送するファイルを選択します。選択する方法には以下の2つがあります。
 - ①ファイル名欄に対象ファイルをドラッグ & ドロップします。
 - ② **参照** ボタンをクリックし、ファイルを選択します。
2. 転送シミュレーションで転送直前までの動作確認を行います(推奨)。
3. **転送(T)>>** ボタンを押して、データの転送を行います。



 ※ファイルを選択する時は、転送するファイルを閉じてから行なってください。開いた状態では選択することができません。

■ 表示内容

ボタン名称	説明
戻る	転送画面に戻ります。
転送	設定された項目の転送を行います。
設定する	設定画面のインタフェース画面を開きます。
閉じる	画面を閉じます。
項目名称	説明
1行目を見出し行とする	転送するファイルの1行目を見出し行として扱う、どうかを設定します。
連携項目	トップ画面で設定された転送項目を表示します。
ファイル名	転送するファイル名
周期設定	スケジュール設定画面で設定された周期設定を表示します。 変更する場合は「設定する」を押して、スケジュール設定画面で再度設定してください。 ※画面からの変更は行えません。
転送シミュレーション	転送処理直前までの処理をシミュレートし、結果を表示します。

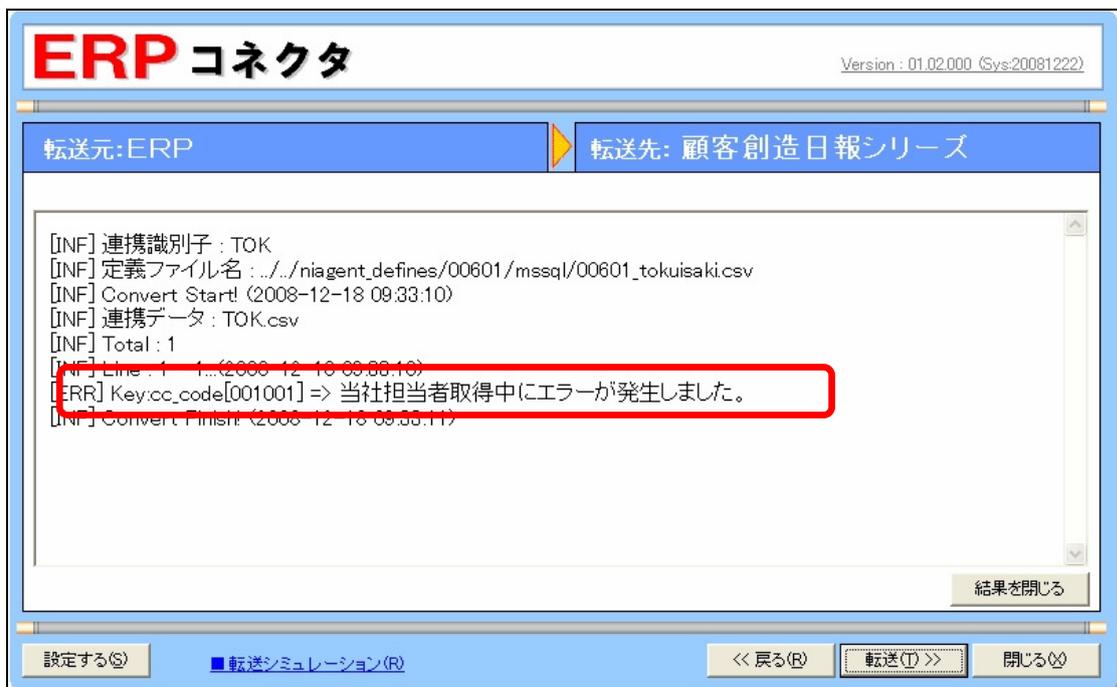
9. 連携結果の確認

手動でデータ転送を行った場合は、ERP コネクタ上に連携結果の実行ログが表示されます。

実行ログにエラーが表示されていない場合は、正常に連携がされていますので、**結果を閉じる** ボタンを押して転送画面に戻ってください。



実行ログにエラーが表示されている場合は、次項でエラーの原因を確認し、CSV ファイルを修正して連携を再度実行してください。



■ 表示内容

ボタン名称	説明
結果を閉じる	連携結果画面を閉じて、転送画面に戻ります。
項目名称	説明
連携結果	連携結果を表示します。 エラーが表示されていない場合は正常に連携がされています。 [ERR]と表示が出ている場合は、エラーが発生して正常に連携がされていません。



※自動でデータを連携した場合は、営業支援システム側システム設定「ERP コネクタ」の設定より連携結果の確認をします。

10. 連携結果の確認(詳細)

自動でデータ転送を行った場合や過去の連携結果を確認は、ERP コネクタ上に連携結果の実行ログが表示されます。

「顧客創造日報シリーズ システム設定よりERPコネクタ」を開く

1. 「顧客創造日報シリーズ」の WEB 画面を開き、「システム設定」をクリックします。

※「顧客創造日報シリーズ」へのログイン方法、システム設定画面の表示方法の詳細は、「顧客創造日報シリーズ」の製品マニュアルをご確認ください。

2. ログリスト欄に時系列で実行ログが表示されていますので、クリックして結果の確認を行います。

■実行状態の確認

実行状態	連携識別子	実行時間	状態	
	BMN	20081217180046	停止	
	SYN	20081218093228	停止	
	TOK	20081218094654	停止	
	ITM	20081215164650	停止	
	URI	20081215171314	停止	
	TUK		停止	

■実行ログの確認

ログリスト

- [NIAG_20081218094644578.log](#)
- [NIAG_20081218094530562.log](#)
- [NIAG_20081218094501843.log](#)
- [NIAG_20081218093309968.log](#)
- [NIAG_20081218093218437.log](#)
- [NIAG_20081218093108437.log](#)
- [NIAG_20081217182619109.log](#)
- [NIAG_20081217180123156.log](#)

■ 表示内容

項目名称	説明
実行状態	システムで利用する連携識別子 前回実行時間 現在の実行状態 を表示します。
ログリスト	時系列に実行ログが表示されます。 ログ名をクリックすると、実行ログが表示されますので、実行結果・エラー内容を確認してください。

3. 操作方法 (運用編)

これまで本マニュアルの「操作方法(基礎編)」をお読み頂き、操作方法をご理解頂けたと思います。

ここからは、運用に際して、実際にどのような設定を行えばよいかを具体的に説明します。設定に際して、各システムの画面を確認する必要があります。以下の表に作業手順と関連するシステムを記載しますので、手順のイメージをご理解ください。

作業項目	作業内容	システム		
		ERP	ERPコネクタ	顧客創造日報シリーズ
1.事前準備 ↓	1-1.顧客重複チェックの設定	-	-	○
	1-2.売上情報に対する設定	-	-	○
2.グループ(部署)情報の連携 ↓	2-1.事前確認	-	○	
	2-2.部署階層を持たせる為の設定	-	-	○
	2-3.部署情報の転送	-	○	-
	2-4.転送後の設定	-	-	○
3.社員情報の連携 ↓	3-1.事前確認	○	-	○
	3-2.姓名の入力規則	-	-	○
	3-3.社員情報の転送	-	○	-
	3-4.転送後の設定	-	-	○
4.顧客情報の連携 ↓	4-1.事前確認	○	-	○
	4-2.顧客情報の転送	-	○	-
	4-3.転送後の設定	-	-	○
5.商品情報と商品分類の連携	5-1.事前確認	○	-	○
	5-2.商品情報・商品分類情報の転送	-	○	-
6.売上実績情報の連携 ↓ ↓	6-1.未登録の顧客の売上連携の設定	-	-	○
	6-2.未登録の社員の売上連携の設定	-	-	○
	6-3.連携単位の設定	-	-	○
	6-4.売上実績情報の転送	-	○	-
7.見込顧客を ERP へ転送		○	-	○

【以降の手順を読む前に】

ERP コネクタの転送画面に注意事項が記載させていますので、そちらをお読みください。



【既に顧客創造日報シリーズを運用しているユーザー様へ】

顧客創造日報シリーズとERPの情報を一意に識別するため「連携キー」というものが必要になります。

部署情報は「グループコード」、社員情報は「社員コード」、顧客情報は「顧客コード」、商品情報は「商品コード」というように取り決めをしています。これらの項目をすでに別の用途で使用されている場合、別の方法で管理頂きますようお願いいたします。

1. 事前準備

ERP と顧客創造日報シリーズを連携するために、事前に行う設定を以下に示します。

1-1. 顧客重複チェックの設定

ERP の顧客情報と顧客創造日報シリーズの顧客情報を一意に識別するための連携キーとして「顧客コード」を使用します。

顧客創造日報シリーズの画面から ERP から転送される得意先コードと同じ値を入力されますと、顧客創造日報シリーズ側で作成した顧客情報が更新されます。従って、以下の手順を行い、顧客創造日報シリーズで同じコードを登録できないようにします。

1. 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
2. 顧客創造日報シリーズのシステム設定から「顧客プロフィール」-「重複チェック」の画面を開きます。
3. 「重複チェック」の項目が「顧客コード+除外コード」となっていることを確認します。設定されていない場合はチェックしてください。
4. 「除外コード」の項目の「顧客コード未入力は除外コードと見なす」にチェックを入れてください。
5. **変更する** ボタンをクリックしてください。

顧客プロフィール (重複チェック)

部署未登録 システム 管理者

顧客創造日報 (メニューリスト) > 顧客プロフィール (重複チェック)

変更する

重複チェック

- 顧客名 + 部門名
- 顧客名 + 部門名 + TEL
- 顧客コード + 除外コード

除外コード

除外コードを改行区切りで入力してください

顧客コード未入力は除外コードと見なす

- ここで除外コード(例:99999等)を設定すると、除外コードに該当する顧客については、「顧客コード」ではなく「顧客名 + 部門名 + TEL」をキーに重複チェックを行います。
- 除外コードは重複チェックで「顧客コード」を選択した場合のみ有効です
- 除外コードは最大で5個まで設定することができます

以下の更新用出力、CSVデータ読み込みでは、顧客の重複チェックキーが出力項目として自動追加されます。

- 重複チェックキー「顧客コード + 除外コード」選択時 ⇒ 「顧客コード」と「TEL」
- 重複チェックキー「顧客名 + 部門名 + TEL」選択時 ⇒ 「TEL」

顧客プロフィール、パーソナルプロフィール、案件情報、納入機器情報、売上実績、予算情報

変更する

【除外コードとは何?】



重複チェックの際、チェックから除外するコードを意味します。例えば、新規開拓の顧客や商談途中の顧客で未だコードを付与するに至らない情報の場合、利用者にそれを意味する(顧客コード:99999)を設定させるといったケースがあります。所謂仮コードというものです。この場合、顧客コード:99999 は複数存在することが前提となりますので、除外コードに設定します。

1-2. 売上情報に対する設定

顧客創造日報シリーズを単独で運用されていても売上実績の管理は可能です。

ただ、今回の主旨は見込み段階は顧客創造日報シリーズの受注見込み、売上見込み情報で管理し、受注後は ERP 側の売上実績情報で管理する。ということになりますので、以下の手順に従い、**顧客創造日報シリーズの売上見込を自動で売上実績にしない。**という設定を行います。

1. 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
2. 顧客創造日報シリーズのシステム設定から「案件情報」-「売上見込情報の自動転送設定」の画面を開きます。
3. 「受注商談登録時に案件情報の売上見込を自動的に売上実績として自動登録する」がチェックされている場合、**チェックを外してください。**
4. **変更する** ボタンをクリックしてください。

案件情報 (売上見込情報の自動転送設定)	部署未登録 システム 管理者
----------------------	----------------

顧客創造日報 (メニューリスト) > 案件情報 (売上見込情報の自動転送設定)

変更する

売上情報設定 受注商談登録時に案件情報の売上見込を自動的に売上実績として自動登録する。

変更する

2. グループ(部署)情報の連携

ERP の組織情報を顧客創造日報シリーズのグループ情報に連携することにより、顧客創造日報シリーズの「売上訪問対比」、「売上予実績」を組織別に分析することができます。

【言葉の定義】

以降の説明に登場する言葉の意味は以下のとおりとなります。

表記	ERP での表記	意味
グループ(部署)	事業部、部門	〇〇部、〇〇課、〇〇支店など組織を意味するもの。

2-1. 事前確認

既に顧客創造日報シリーズにグループ情報が登録されている場合、ERP の部署情報を取り込む前に「グループコード」、「部署コード」(連携キー)の整合性を図る必要があります。

以下の手順に従って設定してください。

※顧客創造日報シリーズに登録されているグループ情報を削除して転送される場合、以下の手順は不要です。

【顧客創造日報シリーズ画面にて変更する】

- 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
- 顧客創造日報シリーズのシステム設定から「基本設定」-「グループ情報」の画面を開きます。
- 変更したいグループを表示し、「すべてを編集可能にする」ボタンをクリックします。

グループ(営業部)の編集

システム 管理者

基本設定 > グループ情報(一覧) > グループ(営業部)の編集

(※)は必須項目です。

使用区分	<input checked="" type="radio"/> 使用中 <input type="radio"/> 使用停止
グループ名(※)	<input type="text" value="営業部"/> [全角64文字まで] ※次の文字は使用できません。[/ - < > " ' & *]
よみがな	<input type="text" value="えいぎょうぶ"/> [全角64文字まで]
表示名	<input type="text"/> [全角32文字まで] 画面に表示するグループ名です ※空白の場合、グループ名が画面に表示されます。 ※重複しての登録はできません。 ※次の文字は使用できません。[/ - < > " ' & *]
コード	<input type="text" value="001-00001"/> [半角128文字まで]
区分	<input checked="" type="radio"/> 部署 <input type="radio"/> グループ (語尾に[G]が表示されます。)

- ERP 側で該当する部署情報の「部署コード」を確認します。
- 4 で確認したコードを設定します。

表示名

画面に表示するグループ名です
※空白の場合、グループ名が画面に表示されます。
※重複しての登録はできません。
※次の文字は使用できません。[/ - < > " ' & *]

コード

[半角128文字まで]

区分

部署 グループ (語尾に[G]が表示されます。)

連絡先

グループコードの例

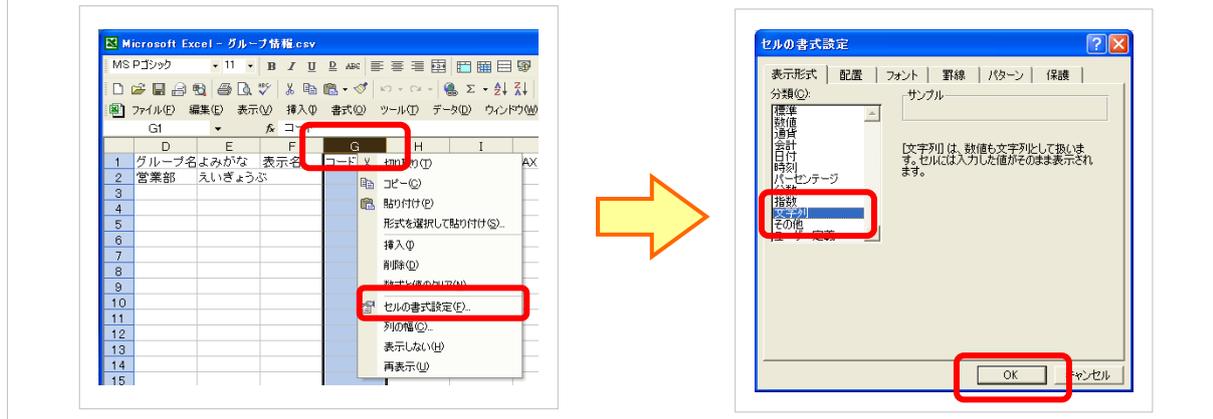
事業所コード- 部門コード

例 001-00001

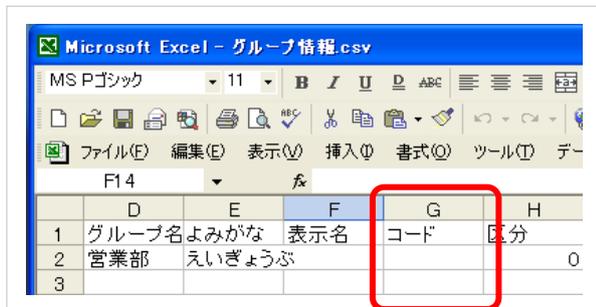
【顧客創造日報シリーズのグループ情報(CSV データ書き出し)で一括更新する】

1. 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
2. システム設定画面の「基本設定」-「グループ情報」-「CSVデータ書き出し」に進み、**書き出し** ボタンをクリックして、「グループ情報.csv」ファイルを出力します。
3. グループ情報.csv ファイルを Excel で開きます。
4. Excel で CSV ファイルを表示すると、全てが数値で且つ先頭が0の場合、0が省略されてしまいます。それを予防するためにセルの書式を「文字列」に変更します。

- ① 「コード」の列を右クリックする。
- ② 「セルの書式設定(F)」をクリックする。
- ③ 「表示形式」タグにおいて「文字列」を選択する。
- ④ 「OK」をクリックし、書式設定を閉じる。



5. ERP 側で該当の部門の「部門コード」を確認します。
6. 5 で確認したコードを CSV ファイルに入力します。



7. 登録が済みしたら「グループ情報.csv」として保存します。
8. システム設定画面の「CSV 設定」-「グループ情報」-「CSV データ読み込み」に進みます。
9. **参照** ボタンから、保存したファイルを選択し、**読み込み** ボタンをクリックします。

グループ情報 (CSVデータ読み込み)

システム 管理者

基本設定 > グループ情報 (CSVデータ読み込み)

11行目は項目名

読み込み 「参照...」ボタンを押してファイルを選んだ後、「読み込み」ボタンを押して下さい。

※CSVファイルを読み込む場合は、以下の項目順で作成する必要があります。
※赤字は必須項目です。必ず入力して下さい。

[CSVファイルのサンプルをこちらからダウンロードして下さい。](#)

項目	説明
グループID (システムID)	同じIDのグループ情報を更新します。0の場合は新規登録となります。
使用区分	使用中は空白、使用停止中にするものは「0」を入力して下さい。
親グループ名	親グループ名をフル名称で入力して下さい。 グループ名は「/」(スラッシュ)で繋げたすべてのグループ名を入力して下さい。 存在しないグループ名は登録されません。事前に親グループ名を作成するか、CSVの上位に親グループ名を設定して下さい。

2-2. 部署階層を持たせる為の設定

ERPの「部署名」の間に区切り文字「/」を付加することにより(例:「営業部/営業1課」)、部署階層に分解して顧客創造日報シリーズに取り込むことができます。部署を階層化することにより、顧客創造日報シリーズにて、部署別分析、各種分析データの集計機能を有効利用することができます。

区切り文字(半角1文字)は任意に変更することも可能ですので、以下の手順に従って設定してください。

※以下の説明は「/」に設定するものとして説明します。

1. 部署の区切りを示す文字列(半角)を規定します。
2. 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
3. 顧客創造日報シリーズのシステム設定から「ERPコネクタ」-「NIエージェント設定」の画面を開きます。
4. 規定した区切り文字を「部署名区切り文字」に設定します。
5. **保存する** ボタンをクリックしてください。

■環境設定	
<input type="button" value="保存する"/>	
連携フラグ	NIエージェントの連携設定を行います。 <input checked="" type="radio"/> 連携する <input type="radio"/> 連携しない
認証情報(ログインID)	認証に必要なログインIDの設定を行います。(入力必須) [半角4~32文字] niagent
認証情報(パスワード)	認証に必要なパスワードの設定を行います。(入力必須) [半角4~32文字] *****
ログレベル	ログ出力レベルの設定を行います。 デバッグ
ログファイル管理数	管理するログファイル数の設定を行います。[1~50ファイル] 10
連携用社員情報	外部システムから転送されてくる社員情報が存在しない場合に強制セットする社員コードを設定して下さい。[最大半角128文字] <input type="text"/> <input type="button" value="表示"/>
連携用顧客情報	外部システムから転送されてくる顧客情報が存在しない場合に強制セットする顧客コードを設定して下さい。[最大半角32文字] <input type="text"/> <input type="button" value="表示"/>
部署名区切り文字	部署名の分割・結合時に用いる区切り文字の設定を行います。[半角1文字] /

※同じ文字コードにしてください。

【ERP 側部署情報の設定】

第一営業部 / 営業1課
" / 営業2課
" / 営業3課

2-3. 部署情報の転送

以上の設定が整いましたら、部署情報を転送します。**ここでは部署情報のみ転送してください。**

※転送方法は本マニュアルの「操作方法(基礎編)」を参照してください。

※エラーが発生した際には本マニュアルの「トラブルシューティング」に従って対応してください。

2-4. 転送後の設定

転送が完了しましたら、ERPから転送されない項目(かなやTELなど)を顧客創造日報シリーズのシステム設定で設定してください。

※設定方法は製品マニュアルのシステム設定マニュアルをご覧ください。

【その他の問題点と対策】



① 顧客創造日報シリーズ側のグループリストがきれいに並んでくれない。

ERPコネクタでは、グループの並び順は初期値のみ設定し、その後は更新しません。顧客創造日報シリーズのシステム設定-「基本設定」-「グループ情報」で並び変えを行ってください。

3. 社員情報の連携

ERP の社員情報を顧客創造日報シリーズのグループ情報に連携することにより、顧客創造日報シリーズの「売上訪問対比」、「売上実績」を社員別に分析することができます。

【言葉の定義】

以降の説明に登場する言葉の意味は以下のとおりとなります。

表記	ERP での表記	意味
社員	担当者	社員を意味するもの。

3-1. 事前確認

既に顧客創造日報シリーズに社員情報が登録されている場合、ERP の担当者情報を取り込む前に「社員コード」、「担当者コード」(連携キー)の整合性を図る必要があります。

以下の手順に従って設定してください。

※顧客創造日報シリーズに登録されている社員情報を削除して転送される場合、以下の手順は不要です。

【顧客創造日報シリーズ画面にて変更する】

- 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
- 顧客創造日報シリーズのシステム設定から「基本設定」-「社員情報」の画面を開きます。
- 変更したい社員を表示し、「すべてを編集可能にする」ボタンをクリックします。

社員(NI 太郎)の編集

システム 管理者

基本設定 > 社員情報(一覧) > 社員(NI 太郎)の編集

(※)は必須項目です。

使用区分 使用する 使用しない

氏名(※) (姓) NI (名) 太郎 [それぞれ全角32文字まで]
次の文字は使用できません。/[< > * ' & ¥ *]

よみがな(※) えぬあいたろう [全角64文字まで]

- ERP 側で該当する担当者の「担当者コード」を確認します。
- 4 で確認したコードを設定します。

携帯パスワード [半角4~32文字]
使用できる文字は[0-9 a-z A-Z _-@]です。

携帯パスワード(確認) [半角4~32文字]
使用できる文字は[0-9 a-z A-Z _-@]です。

社員コード

携帯電話 090-000-0001

携帯メール

社員コードの例

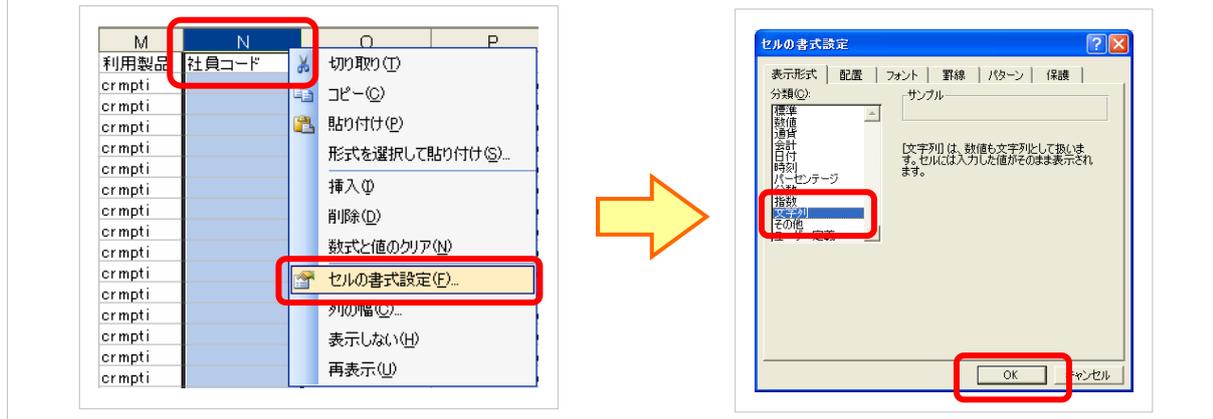
担当者コードと同じコードをセットする

例 10001

【顧客創造日報シリーズの社員情報(CSV データ書き出し)で一括更新する】

10. 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
11. システム設定画面の「基本設定」-「社員情報」-「CSVデータ書き出し」に進み、**書き出し** ボタンをクリックして、「社員情報.csv」ファイルを出力します。
12. 社員情報.csv ファイルを Excel で開きます。
13. Excel で CSV ファイルを表示すると、全てが数値で且つ先頭が0の場合、0が省略されてしまいます。それを予防するためにセルの書式を「文字列」に変更します。

- ⑤ 「社員コード」の列を右クリックする。
- ⑥ 「セルの書式設定(F)」をクリックする。
- ⑦ 「表示形式」タグにおいて「文字列」を選択する。
- ⑧ 「OK」をクリックし、書式設定を閉じる。



14. ERP 側で該当の担当者の「担当者コード」を確認します。
15. 5 で確認したコードを CSV ファイルに入力します。

The image shows a screenshot of Microsoft Excel with a file named '社員情報.csv' open. The spreadsheet has columns L, M, N, O. The data is as follows:

	L	M	N	O
1	権限レベル	利用製品	社員コード	携帯番号
2	2	crmpiti		090-000-0001
3	2	crmpiti		090-000-0002
4	2	crmpiti		090-000-0003
5	2	crmpiti		090-000-0004
6	2	crmpiti		090-000-0005
7	2	crmpiti		090-000-0006
8	2	crmpiti		090-000-0007
9	2	crmpiti		090-000-0008
10	2	crmpiti		090-000-0009

The '社員コード' column (N) is highlighted with a red box.

16. 登録が済みましたら「社員情報.csv」として保存します。
17. システム設定画面の「CSV 設定」-「社員情報」-「CSV データ読み込み」に進みます。

18. **参照** ボタンから、保存したファイルを選択し、**読み込み** ボタンをクリックします。

社員情報 (CSVデータ読み込み)

部署未登録 システム 管理者

基本設定 > 社員情報 (CSVデータ読み込み)

1行目は項目名

「参照...」ボタンを押してファイルを選んだ後、「読み込み」ボタンを押して下さい。

※CSVファイルを読み込む場合は、以下の項目順で作成する必要があります。
※赤字は必須項目です。必ず入力して下さい。

[CSVファイルのサンプルをこちらからダウンロードしてお使い下さい。](#)

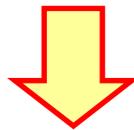
項目	説明
社員ID (システムID)	同じIDの社員情報を更新します。0の場合は新規登録となります。
使用区分	使用中は空白、使用停止中にするものは「停」を入力して下さい。
氏名 (姓)	全角30文字まで。(氏名 + 社員コードの重複不可)

3-2. 姓名の入力規則

顧客創造日報シリーズでは社員名の姓名を半角スペースで分けして管理します。

従って、転送する前に以下の手順に従い、ERP 側担当者名も半角スペースで区分してください。

ERP の担当者名 **NI 太郎**



【顧客創造日報シリーズの表示例】

社員 (NI 太郎) の編集

基本設定 > [社員情報 \(一覧\)](#) > 社員 (NI 太郎) の編集

(※)は必須項目です。

使用区分	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
氏名 (※)	(姓) NI <input type="text"/> (名) 太郎 <input type="text"/>

3-3. 社員情報の転送

以上の設定が整いましたら、社員情報を転送します。**ここでは社員情報のみ転送してください。**

※転送方法は本マニュアルの「操作方法 (基礎編)」を参照してください。

※エラーが発生した際には本マニュアルの「トラブルシューティング」に従って対応してください。

3-4. 転送後の設定

転送が完了しましたら、ERPから転送されない項目(携帯ログイン、パスワード、利用製品など)を顧客創造日報シリーズのシステム設定で設定してください。

※設定方法は製品マニュアルのシステム設定マニュアルをご覧ください。

【その他の問題点と対策】



①氏名が正しく表示されない。

半角スペースが2つ以上セットされている可能性があります。ERPの担当者名を確認してください。

②顧客創造日報シリーズ側の社員リストがきれいに並んでくれない。

ERPコネクタでは、グループの並び順は初期値のみ設定し、その後は更新しません。

顧客創造日報シリーズのシステム設定画面の「基本設定」-「社員情報」から並び変えを行ってください。

4. 顧客情報の連携

顧客創造日報シリーズで売上実績を見るためには、ERP と顧客創造日報シリーズの顧客情報を連携させる必要があります。正しく連携されていない場合、売上実績の顧客が未登録となりますので、以下のポイントに従って正しく設定してください。

【言葉の定義】

以降の説明に登場する言葉の意味は以下のとおりとなります。

表記	ERP での表記	意味
顧客	得意先	商談や取引を行う企業

4-1. 事前確認

既に顧客創造日報シリーズに顧客情報が登録されている場合、ERP の顧客情報を取り込む前に「顧客コード」(連携キー)の整合性を図る必要があります。以下の手順に従って設定してください。

※顧客創造日報シリーズに登録されている顧客情報を削除して転送される場合、以下の手順は不要です。

【顧客創造日報シリーズ画面にて変更する】

1. 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
2. 変更したい顧客の顧客プロフィールを表示します。
3. ERP 側で該当する顧客の「顧客コード」を確認します。
4. 3 で確認したコードを設定します。

The screenshot shows a web interface for editing a customer profile. At the top, there are buttons for '保存' (Save), '保存してメール' (Save and email), 'キャンセル' (Cancel), and '部門登録' (Department registration). Below these is a blue header '顧客プロフィール' (Customer Profile). The form contains several input fields: '顧客名*' (Customer name), '顧客名かな*' (Customer name kana), '顧客ランク' (Customer rank) with a dropdown arrow, and '顧客コード' (Customer code). The '顧客コード' field is highlighted with a red rectangular box.

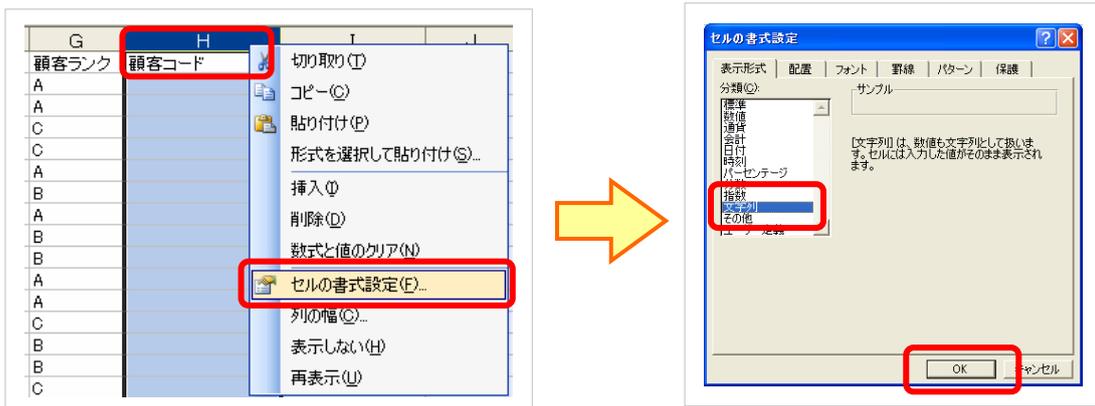
【顧客創造日報シリーズの更新用出力で一括更新する】

1. 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
2. 「顧客検索」にて変更したい顧客情報を検索し、「更新用出力」ボタンをクリックして、「顧客プロフィール.csv」を出力します。



3. 顧客プロフィール csv ファイルを Excel で開きます。
4. Excel で CSV ファイルを表示すると、全てが数値で且つ先頭が0の場合、0が省略されてしまいます。それを予防するためにセルの書式を「文字列」に変更します。

- ① 「顧客コード」の列を右クリックする。
- ② 「セルの書式設定(F)」をクリックする。
- ③ 「表示形式」タグにおいて「文字列」を選択する。
- ④ 「OK」をクリックし、書式設定を閉じる。



5. ERP 側で該当する顧客の「顧客コード」を確認します。
6. 5 で確認したコードを設定します。

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following data:

	F	G	H	I
1	本社TEL	顧客ランク	顧客コード	月基準訪問回数
2	03-000-0001	A		5
3	03-000-0002	A		4
4	03-000-0003	C		2
5	03-000-0004	C		3
6	03-000-0005	A		10
7	03-000-0006	B		2
8	03-000-0007	A		1
9	03-000-0008	B		2
10	03-000-0009	B		4

7. 登録が済みしたら「顧客プロフィール.csv」として保存します。
8. システム設定画面の「CSV 設定」-「顧客プロフィール CSV データ読み込み」に進みます。
9. **参照** ボタンから、保存したファイルを選択し、**読み込み** ボタンをクリックします。

CSV設定 (顧客プロフィールCSVデータ読み込み)
部署未登録 システム 管理者

顧客創造日報(メニューリスト) > CSV設定 (顧客プロフィールCSVデータ読み込み)

参照... 1行目(は項目名)

読み込み 「参照...」ボタンを押してファイルを選んだ後、「読み込み」ボタンを押して下さい。

※CSVファイルを読み込む場合は、以下の項目順で作成する必要があります。
 ※赤字は必須項目です。必ず入力して下さい。
 ※一度に一括読み込み可能な最大件数は1000件までです。
 ただし利用中の自由項目数やサーバーのスペックによっては1000件以下となる場合がございます。

[CSVファイルのサンプルをこちらからダウンロードしてお使い下さい。](#)

項目	説明	備考
システムID	新規に顧客データの取り込み場合は：0(半角ゼロ) 既存の顧客データの変更する場合は：当該顧客情報のシステムID ※システムIDは当該顧客データをテキスト出力してご確認ください。	(半角数値)

4-2. 顧客情報の転送

以上の設定が整いましたら、顧客情報を転送します。**ここでは顧客情報のみ転送してください。**
 ※転送方法は本マニュアルの「操作方法(基礎編)」を参照してください。
 ※エラーが発生した際には本マニュアルの「トラブルシューティング」に従って対応してください。

4-3. 転送後の設定

転送が完了しましたら、ERPから転送されない項目(かな、業種、地域など)を顧客創造日報シリーズで設定してください。
 ※設定方法は製品マニュアルのシステム設定マニュアルをご覧ください。

5. 商品分類・商品情報の連携

※顧客深耗日報、顧客深耗日報 Type-Rのみ連携可能です。

顧客創造日報シリーズで商品情報を利用する場合、商品分類で絞り込みが行えると非常に便利です。

ここでは、ERP では商品分類が複数ある場合が多いのに対し、顧客創造日報シリーズの商品分類1つとなります。これを正しく紐づけるための手順を説明します。

【言葉の定義】

以降の説明に登場する言葉の意味は以下のとおりとなります。

表記	ERP での表記	意味
商品分類	商品分類	商品のある決まった法則でまとめるための単位
商品	商品	取り扱っている商品そのもの

5-1. 事前確認

既に顧客創造日報シリーズに商品情報が登録されている場合、ERP の商品情報を取り込む前に顧客創造日報シリーズの「商品コード1」とERP の「商品コード」(連携キー)の整合性を図る必要があります。

以下の手順に従って設定してください。

※顧客創造日報シリーズに登録されている商品情報を削除して転送される場合、以下の手順は不要です。

【顧客創造日報シリーズ画面にて変更する】

1. 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
2. 顧客創造日報シリーズのシステム設定から「商品情報」画面を開き、変更したい商品情報を表示します。
3. ERP 側で該当する商品の「商品コード」を確認します。
4. 3 で確認したコードを設定します。

商品情報(商品名)

システム 管理者

顧客深耕日報(メニューリスト) > 商品情報(商品名一覧) > 編集

保存する キャンセル 削除する

商品分類	<input type="text"/>
商品名1	<input type="text" value="〇〇商品"/>
商品名2	<input type="text"/>
商品コード1	<input type="text"/>
商品コード2	<input type="text"/>
標準単価1	<input type="text"/>

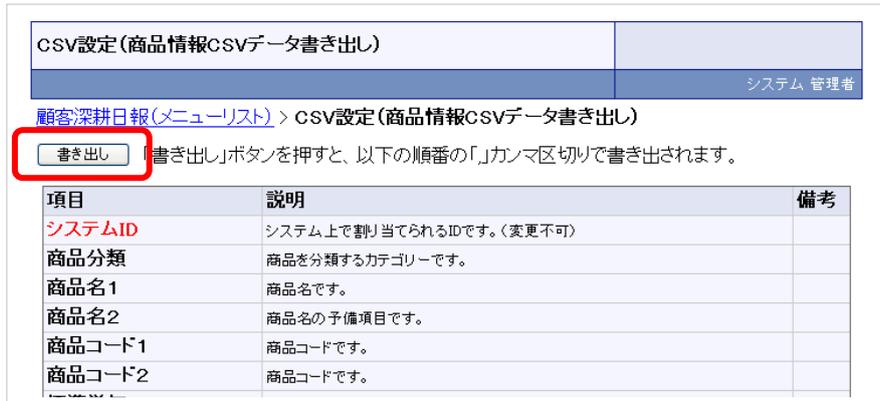
商品コードの例

商品コードと同じコードをセットする。

例 10001

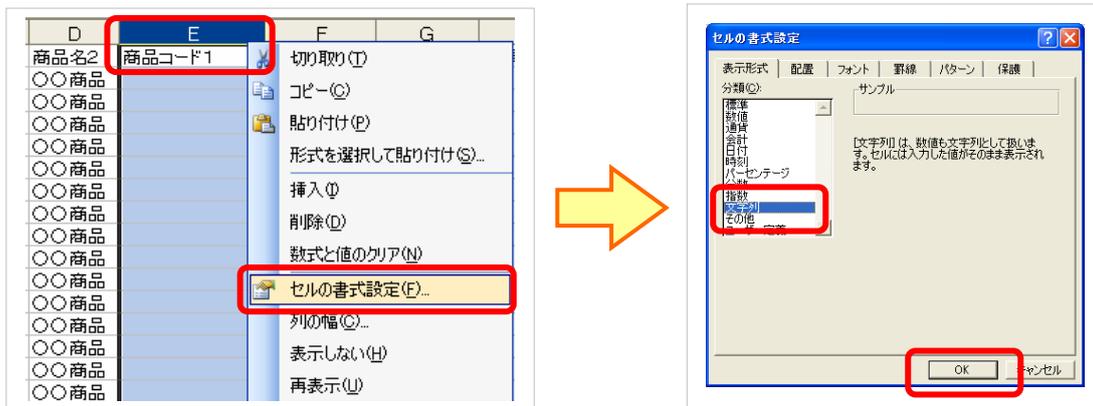
【顧客創造日報シリーズの CSV 設定で一括更新する】

- 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
- 顧客創造日報シリーズのシステム設定から「CSV 設定」-「商品情報 CSV データ書き出し」の画面を開き、**書き出し** ボタンをクリックすると、「商品情報.csv」を出力します。



- 「商品情報.csv」を Excel で開きます。
- Excel で CSV ファイルを表示すると、全てが数値で、且つ先頭が0の場合、0が省略されてしまいます。それを予防するためにセルの書式を「文字列」に変更します。

- 「商品コード1」の列を右クリックする。
- 「セルの書式設定(F)」をクリックする。
- 「表示形式」タグにおいて「文字列」を選択する。
- 「OK」をクリックし、書式設定を閉じる。



- ERP 側で該当する商品の「商品コード」を確認します。
- 5 で確認したコードを設定します。

	C	D	E	F	G
1	商品名1 (商品名2)	商品名2	商品コード	商品コード:標準単価1	
2	○○商品				
3	○○商品				
4	○○商品				
5	○○商品				
6	○○商品				
7	○○商品				
8	○○商品				
9	○○商品				
10	○○商品				
11	○○商品				
12	○○商品				
13	○○商品				
14	○○商品				
15	○○商品				
16	○○商品				

商品コードの例

商品コードと同じコードをセットする。

例 10001

- 登録が済みしたら「商品情報.csv」として保存します。
- システム設定画面の「CSV 設定」-「商品情報 CSV データ読み込み」に進みます。

9. **参照** ボタンから、保存したファイルを選択し、**読み込み** ボタンをクリックします。

CSV設定(商品情報CSVデータ読み込み)		システム 管理者
顧客深耕日報(メニューリスト) > CSV設定(商品情報CSVデータ読み込み)		
<input type="text"/>	参照... <input checked="" type="checkbox"/> 1行目は項目名	
読み込み	「参照...」ボタンを押してファイルを選んだ後、「読み込み」ボタンを押して下さい。	
※CSVファイルを読み込む場合は、以下の項目順で作成する必要があります。		
※赤字は必須項目です。必ず入力して下さい。		
※一度に一括読み込み可能な最大件数は1000件までです。		
ただし利用中の自由項目数やサーバーのスペックによっては1000件以下となる場合がございます。		
CSVファイルのサンプルをこちらからダウンロードしてお使い下さい。		
項目	説明	備考
システムID	新規に商品マスターデータの取り込む場合は：0(半角ゼロ) 既存の商品マスターデータの変更する場合は：当該商品マスタのシステムID ※システムIDは当該商品マスターデータをテキスト出力してご確認ください。	(半角数値)

5-2. 商品情報の転送

- 以上の設定が整いましたら、商品情報を転送します。**ここでは商品情報のみ転送してください。**
※転送方法は本マニュアルの「操作方法(基礎編)」を参照してください。
※エラーが発生した際には本マニュアルの「トラブルシューティング」に従って対応してください。

6. 売上実績情報の連携

6-1. 未登録の顧客の売上連携の設定

顧客創造日報シリーズに存在しない顧客の売上情報を転送した場合、顧客の存在チェックでエラーとなりますので、以下の手順で予防設定を行ってください。

1. 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
2. 顧客の新規登録を行い、存在しない顧客のデータを受けた場合に設定する顧客情報を登録します。※必ず顧客コードを設定してください。
3. 顧客創造日報シリーズのシステム設定-「ERPコネクタ」-「連携用顧客情報」に2の「顧客コード」をセットします。
4. 設定が終了しましたら **保存する** をクリックして、確定してください。

■環境設定

保存する

連携フラグ	NIエージェントの連携設定を行います。 <input checked="" type="radio"/> 連携する <input type="radio"/> 連携しない
認証情報(ログインID)	認証に必要なログインIDの設定を行います。(入力必須) [半角4~32文字] niagent
認証情報(パスワード)	認証に必要なパスワードの設定を行います。(入力必須) [半角4~32文字] *****
ログレベル	ログ出力レベルの設定を行います。 デバッグ
ログファイル管理数	管理するログファイル数の設定を行います。[1~50ファイル] 10
連携用社員情報	外部システムから転送されてくる社員情報が存在しない場合に強制セットする社員コードを設定して下さい。【最大半角128文字】 [表示]
連携用顧客情報	外部システムから転送されてくる顧客情報が存在しない場合に強制セットする顧客コードを設定して下さい。【最大半角32文字】 [表示]
部署名区切り文字	部署名の分割・結合時に用いる区切り文字の設定を行います。[半角1文字] /

※連携フラグを「連携する」で保存した場合は、顧客重複チェックが「顧客コード+除外コード」で自動設定されます。

※ **表示** ボタンをクリックして設定が正しいか確認してください。

6-2. 未登録の社員の売上連携の設定

顧客創造日報シリーズに存在しない社員の売上情報を転送した場合、社員の存在チェックでエラーとなりますので、社員情報を転送するか、理由がある場合、以下の手順で予防設定を行ってください。

1. 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
2. システム設定画面の社員情報にて、社員を登録します。※必ず社員コードを設定してください。社員情報の登録画面に「すべてを編集可能にする」というボタンがありますので、それをクリックして、社員コードの登録が有効になります。
3. 顧客創造日報シリーズのシステム設定-「ERPコネクタ」-「連携用社員情報」に2の「社員コード」をセットします。
4. 設定が終了しましたら **保存する** をクリックして、確定してください。

■環境設定

保存する

連携フラグ	NIエージェントの連携設定を行います。 <input checked="" type="radio"/> 連携する <input type="radio"/> 連携しない
認証情報(ログインID)	認証に必要なログインIDの設定を行います。(入力必須) [半角4~32文字] niagent
認証情報(パスワード)	認証に必要なパスワードの設定を行います。(入力必須) [半角4~32文字] *****
ログレベル	ログ出力レベルの設定を行います。 デバッグ
ログファイル管理数	管理するログファイル数の設定を行います。[1~50ファイル] 10
連携用社員情報	外部システムから転送されてくる社員情報が存在しない場合に強制セットする社員コードを設定して下さい。【最大半角128文字】 [表示]
連携用顧客情報	外部システムから転送されてくる顧客情報が存在しない場合に強制セットする顧客コードを設定して下さい。【最大半角32文字】 [表示]
部署名区切り文字	部署名の分割・結合時に用いる区切り文字の設定を行います。[半角1文字] /

※連携フラグを「連携する」で保存した場合は、顧客重複チェックが「顧客コード+除外コード」で自動設定されます。

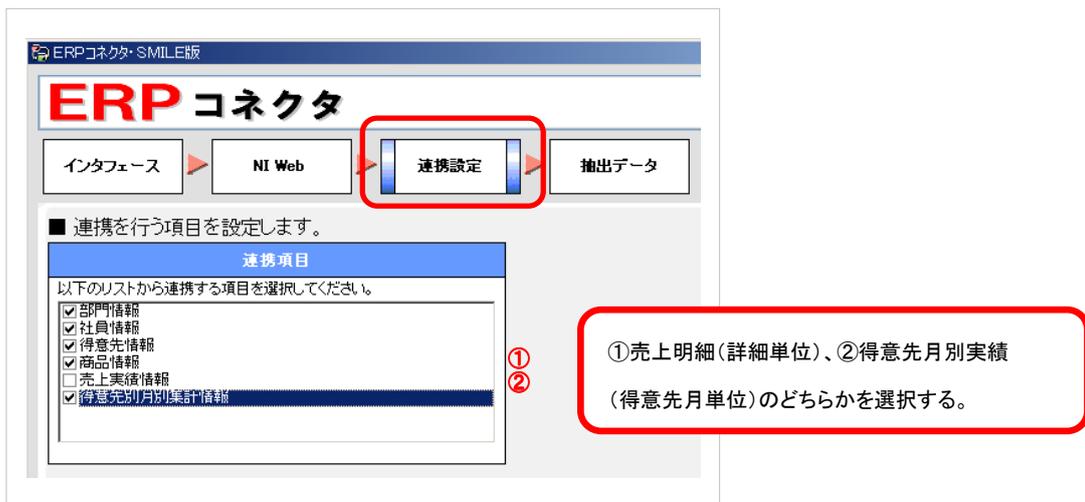
※ **表示** ボタンをクリックして設定が正しいか確認してください。

6-3. 連携単位の設定

顧客創造日報シリーズで管理する、売上データが180万件を超える場合は、運用レスポンスに問題が生じる可能性があるため、以下の条件で連携設定を切り替えてください。

伝票の明細行の行数		連携項目選択
180万行(36万行/年×5年間)	超える	得意先月別実績
	未滿	売上明細

1. ERPコネクタの設定画面を表示します。※操作方法是本マニュアルの「操作方法(基礎編)」を参照してください。
2. **連携設定** ボタンをクリックします。
3. 以下の画面のように、①②のどちらかを選択します。。



6-4. 売上実績情報の転送

以上の設定が整いましたら、売上実績情報を転送します。

※1度に多量のデータを転送しますと処理に時間がかかります。エラーが発生する原因になりますので、転送する期間を区切り何回かに分けて転送してください。

※転送方法は本マニュアルの「操作方法(基礎編)」を参照してください。

※エラーが発生した際には本マニュアルの「トラブルシューティング」に従って対応してください。

7.見込顧客を ERP へ転送

顧客創造日報シリーズで登録した見込顧客を ERP に転送するための手順を以下に示します。

顧客創造日報シリーズとERPの顧客情報を連携する場合、「顧客コード」が必要になります。従って、顧客創造日報シリーズのみで管理されていた見込顧客を ERP へ転送する場合、「顧客コード」、「得意先コード」(連携キー)の整合性を図る必要があります。以下の手順に従って設定してください。

【顧客創造日報シリーズ画面にて変更する】

1. 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
2. 転送する顧客の顧客プロフィールを表示します。
3. ERP 側の空きの「顧客コード」を確認します。
4. 3 で確認したコードを設定します。

保存	保存してメール	キャンセル	部門登録
顧客プロフィール			
顧客名*	<input type="text"/>		
顧客名かな*	<input type="text"/>		
顧客ランク	<input type="text"/>	顧客コード	<input type="text"/>

5. ERP 側で顧客情報を登録してください。

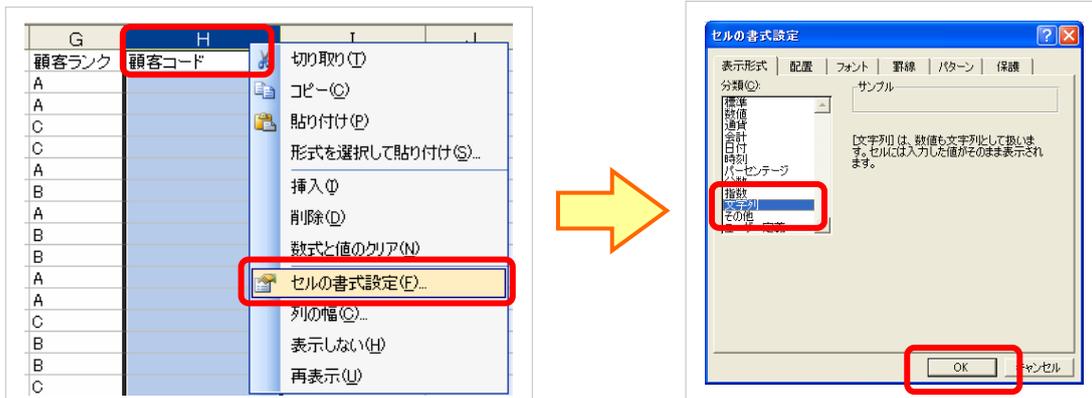
【顧客創造日報シリーズの更新用出力で一括更新する】

1. 顧客創造日報シリーズに管理者(admin 権限)でログインします。
2. 「顧客検索」にて見込顧客を検索し、「更新用出力」ボタンをクリックして、「顧客プロフィール.csv」を出力します。



3. 顧客プロフィール csv ファイルを Excel で開きます。
4. Excel で CSV ファイルを表示すると、全てが数値で且つ先頭が0の場合、0が省略されてしまいます。それを予防するためにセルの書式を「文字列」に変更します。

- ① 「顧客コード」の列を右クリックする。
- ② 「セルの書式設定 (F)」をクリックする。
- ③ 「表示形式」タグにおいて「文字列」を選択する。
- ④ 「OK」をクリックし、書式設定を閉じる。



5. ERP 側で空きの「顧客コード」を確認します。
6. 新しい顧客コードを顧客コード欄に設定します。

The screenshot shows the Microsoft Excel interface with the file '顧客プロフィール.csv' open. The spreadsheet has columns F, G, H, and I. Column F contains phone numbers, G contains customer ranks, H contains customer codes, and I contains monthly visit counts. The '顧客コード' column (H) is highlighted with a red box, showing empty cells for rows 2 through 10.

	F	G	H	I
1	本社TEL	顧客ランク	顧客コード	月基準訪問回数
2	03-000-0001	A		5
3	03-000-0002	A		4
4	03-000-0003	C		2
5	03-000-0004	C		3
6	03-000-0005	A		10
7	03-000-0006	B		2
8	03-000-0007	A		1
9	03-000-0008	B		2
10	03-000-0009	B		4

7. 登録が済みましたら「顧客プロフィール.csv」として保存します。
8. システム設定画面の「CSV 設定」-「顧客プロフィール CSV データ読み込み」に進みます。

9. **参照** ボタンから、保存したファイルを選択し、**読み込み** ボタンをクリックします。

CSV設定(顧客プロフィールCSVデータ読み込み)

部署未登録 システム 管理者

顧客創造日報(メニューリスト) > CSV設定(顧客プロフィールCSVデータ読み込み)

1行目は項目名

読み込み **参照...**

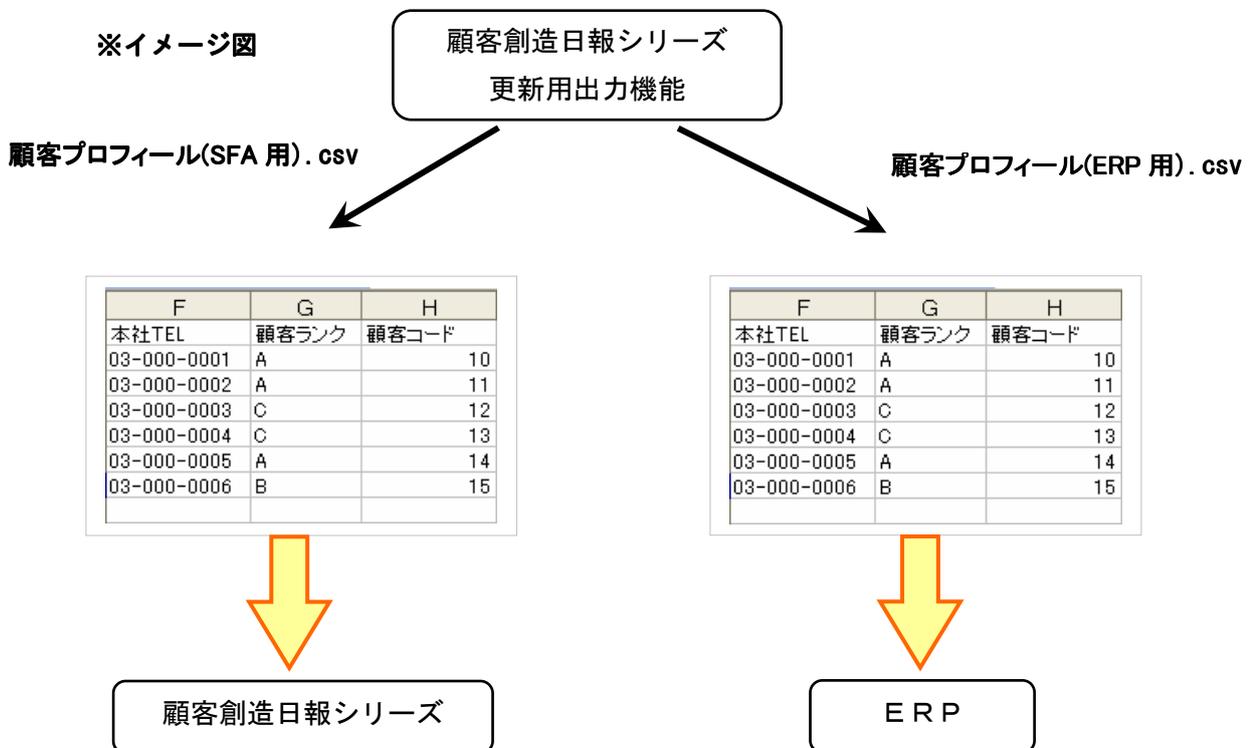
参照...ボタンを押してファイルを選んだ後、「読み込み」ボタンを押して下さい。

※CSVファイルを読み込む場合は、以下の項目順で作成する必要があります。
 ※赤字は必須項目です。必ず入力して下さい。
 ※一度に一括読み込み可能な最大件数は1000件までです。
 ただし利用中の自由項目数やサーバーのスペックによっては1000件以下となる場合がございます。

CSVファイルのサンプルをこちらからダウンロードしてお使い下さい。

項目	説明	備考
システムID	新規に顧客データの取り込み場合は：0(半角ゼロ) 既存の顧客データの変更する場合は：当該顧客情報のシステムID ※システムIDは当該顧客データをテキスト出力してご確認ください。	(半角数値)

10. 「顧客プロフィール(SFA用).csv」を ERP で管理している「顧客プロフィール(ERP用)」に変え、ファイルを開きます。
 11. 終わりましたらファイルを保存します。

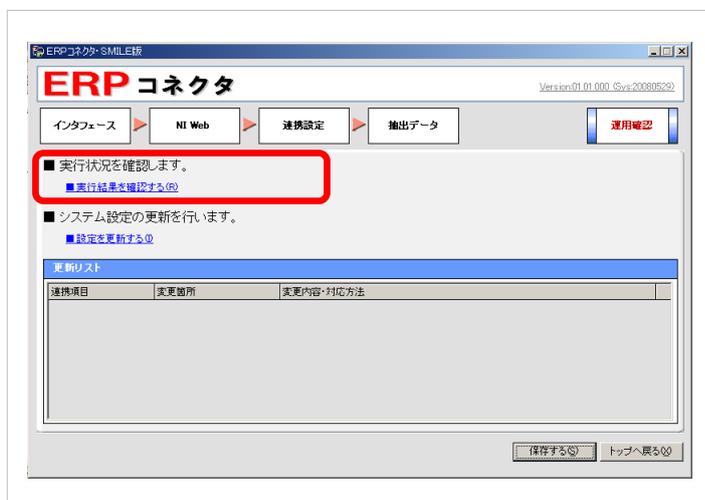


4. トラブルシューティング

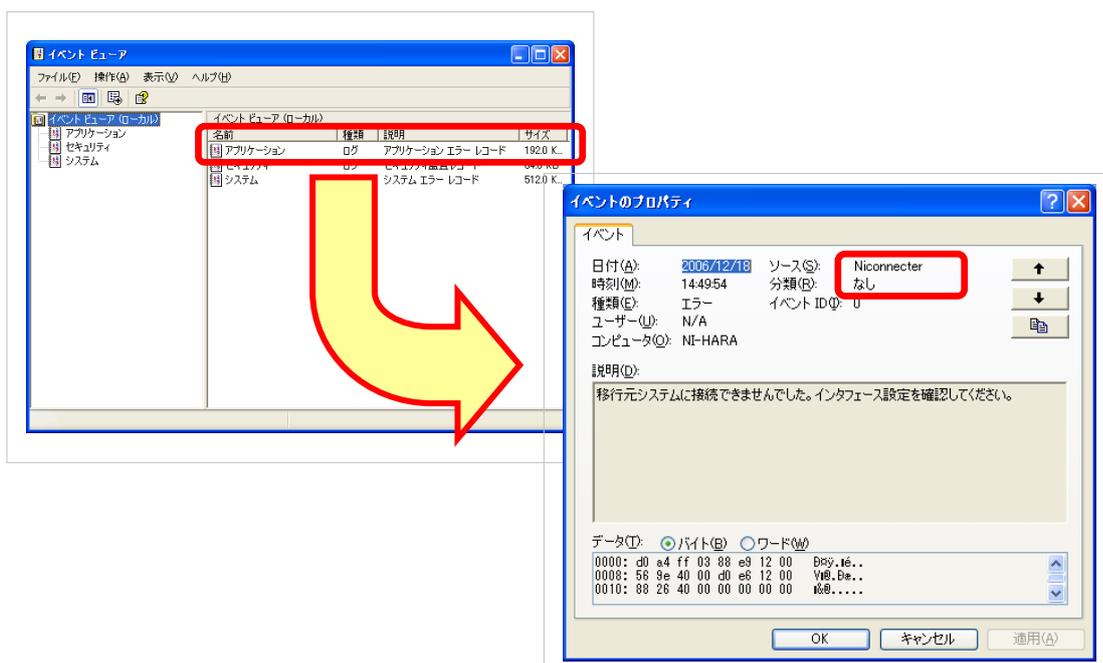
1. ERP コネクタでエラーが発生する

データが正しく転送されない。ERP コネクタでエラーが発生するといった不具合が発生した場合、以下の手順で問題の切り分けをお願いします。

- ① インタフェース設定で「接続テスト」を行い、接続ができるか？
 - ・移行元へDB接続できない。または顧客創造日報シリーズサーバーにFTP接続できない可能性があります。
 - ・双方のサーバーの設定をお確かめください。
- ② NI Web 設定画面で「接続テスト」を行い、接続ができるか？
 - ・顧客創造日報シリーズにWEB接続できなくなっています。
- ③ 運用確認の「実行結果を確認する(R)」でイベントビューアを表示し、アプリケーションログにエラーが記録されていないか？



- ④ 表示されたイベントビューアの「アプリケーション」を開きます。
- ⑤ 表示されたリストからソースが「Niconnecter」のエラーを開きます。



- ⑥ 顧客創造日報のシステム設定－「ERPコネクタ」タグを選択、「ログ参照」に表示されているログファイル名をクリックしてログの内容を確認する。

■実行ログの確認

ログリスト

NIAG_20080513202257.log
NIAG_20080513201511.log
NIAG_20080513200900.log
NIAG_20080513200759.log
NIAG_20080513200056.log
NIAG_20080513195715.log
NIAG_20080513195521.log



[ERR]で始まるログが異常処理のものです。

○ 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了解ください。

○ 発行

平成 26 年 2 月 24 日 第 5 版

株式会社 NI コンサルティング内 サポートデスク

E-MAIL : support@ni-consul.co.jp

URL : <http://www.ni-consul.co.jp>

FAX : 082-511-2226

営業時間: 弊社休業日、土・日・祝日を除く月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00